

知的財産管理技能士・活動報告

知財技能士から広がる新しい経済社会 ―国民的SDGsを目指して―

経営標準化機構株式会社 代表取締役 宮沢 悟／二級知財技能士・知的財産アナリスト（特許・コンテンツ）

IPジャーナルの記事でも様々な著者によって度々取り上げられてきた「持続可能な開発目標（SDGs）」。

私はこれまで企業経営の管理・企画等の業務に携わり、前職では東京大学発ベンチャーにおいて経営管理本部長、IPO、内部監査を歴任した後に、更なる社会への貢献に向けて経営標準化機構株式会社を設立しました。

当社では企業従事者として携わってきた「企業経営」の高度化を外部から実現することと、起業家や中小企業などのようにリソースが少なくても成長が可能な環境を創造することを目標に「新しい経済社会への変革を目指して」を掲げた活動をしています。

この活動においても重要な知的財産に関しては、知的財産管理技能士や知的財産アナリストの資格の取得を通じて知識を得ることができ、さらには知的財産と企業経営との関わりだけでなく、グローバル社会における競争環境、大企業知財部、知財政策やその課題にまで知見を広げることができました。今も様々な知財関係者との関わりや時間の経過によってもその理解を深めています。

・「経営革新等支援機関交流会」

中小企業経営力強化支援法（現：中小企業等経営強化法）が国会で成立した平成24年6月21日同日に経営標準化機構株式会社を設立し、同法における認定を受けて認定経営革新等支援機関（通称：認定支援機関）として事業を展開しています。

認定支援機関が担う業務は、事業再生や補助金や優遇税制等に係るものの一部であり、制度上の対応だけでは経営者からの信頼を得られないという問題認識等から、業界活性化等を目的に「経営革新等支援機関交流会」と称する勉強会（以下、勉強会）を主催することとしました。税理士・弁護士・コンサルタントなどの専門分野が異なる参加者の勉強会として、全25回の開催実績と4桁の延べ参加者数を有

するものとなりました。

経営者の信頼を得るための企画により、認定支援機関制度を所管する経済産業省や中小企業庁だけでなく内閣官房、内閣府、財務省、外務省、厚労省、特許庁、金融庁、出入国在留管理庁など様々な行政機関からの協力により継続開催され、各省庁の政策を展開しつつ政策に対する中小企業支援者目線からの意見交換が行われ、これらが積み重ねられることにより各省庁に共通する課題などへの理解を深められるようにもなりました。

これらの勉強会等から広がる認定支援機関ネットワーク、各省庁との関係性、中小企業支援に関するノウハウを実践に活かすために、平成27年より認定支援機関の連携支援体制「経営革新等支援機関連合会」が発足し、連携による企業支援の他、様々な専門家とともに創造的な取組みを行っています。

・SDGsとの出会い



知財業界で大変に著名な妹尾堅一郎様や住田孝之様の講演などで取り上げられたことも考えるきっかけになった国連サミットが採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」。

日本政府の取組みやESG投資を意識した大企業での取組みが進んでいるものの、中小企業経営者を支援する立場から自分事とは考えず

にいたのが最初の感覚でした。しかしながら、SDGsを採択した背景や目的を見つめ、大企業を動かした論理の延長線上のままでは大部分の中小企業は反応しないという直感から、中小企業支援者によるSDGs推進という可能性を追求し始めました。



外務省への訪問で中小企業へのSDGs浸透が重要課題とされていることを知り、外務省の協力を得てSDGsをテーマとした勉強会（平成30年12月「第22回経営革新等支援機関交流会」）を開催することができました。外務省のほか、環境省ESG懇談会、金沢工業大学、経済産業省から講師をお招きし、グローバルな視点でのビジネス動向、金融や標準化との関係、知財業界での取り組み、中小企業支援者によるSDGs推進のポイントなどを協議・情報提供するものとなりました。

・「国民的SDGs」を目指して

これまでの経緯、知見、ネットワークによってSDGsにおける中小企業支援者としての成果をだすことは想定できるものの、真にSDGsへの貢献を考えるのであればSDGsへ取り組む競争力のある企業

を生むだけでは意味がない。このことから中小企業とともに国民全体でSDGsへ取り組むことを目指したコンセプト「国民的SDGs」を創りだしました。

国民的SDGsは、内閣府が運営する地方創生SDGs官民連携プラットフォームの分科会として設置され、SDGs推進を主導する外務省や自治体SDGsの先頭を走る神奈川県他、業界団体、企業組合、SDGs推進機関等が分科会メンバーとなりました。この分科会は、令和元年9月30日「中小企業がエンジンとなる国民的SDGs公開推進協議会」を開催することでたくさんの方々に認識していただくことができました。



国民的SDGsでは、SDGsという共通の目的のもとに個々では実現できないパートナーシップによる成果を創出する実質的なオープンイノベーションの設計・運用を行うために広くコミュニケーションをはかるためのウェブサイト、Instagram、Twitterを開発し、ブランドや支援ノウハウを開放することで円滑な取組みを促進します。今後の発展のためにも知財経営の知見や知財関係者との連携を期待しています。



ウェブサイト：www.kokuminsdgs.com
 Instagram：[@kokuminsdgs](https://www.instagram.com/kokuminsdgs)
 Twitter：[@kokuminSDGs](https://twitter.com/kokuminSDGs)